

令和5年度 八束学園 学校いじめ防止基本方針

学校教育目標
 「ふるさとを愛し、人間性豊かでたくましい学園生の育成」
学園訓 「自立力」
 (自立・自律・共生)

【いじめの定義】
 児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものとする。

【基本方針】
 いじめは、人間として許されない行為であるという認識のもと、どの子どもにも起こりうるという事実を踏まえ、学校・家庭・地域が一体となって未然防止・早期発見・早期対応に組織的・計画的に取り組む。

めざす学園生像

- よく考え、進んで学ぶ学園生
- 思いやりの心を持ち、ともに伸びる学園生
- 心身ともに健康で、たくましい学園生

家庭・地域との連携

- PTA研修
- 人権講演会
- メディア研修
- 人権標語
- 授業公開日
- あいさつ運動
- 見守り隊
- 地区行事への参加
- 地区体育祭
- 文化祭ボランティア等

【未然防止のための取組】
 人間尊重を基盤とした小中一貫教育の推進・創造をとおして、いじめをゆるさない校風・伝統づくりを推進する

- ① 自己有用感を高めるための授業づくりと集団づくり
 ※「言語活動の充実」によるコミュニケーション能力の育成
 ※基礎・基本を大切にされた確かな学力の育成
- ② いじめを発生させない組織づくり・取組
 ※学園生理解に基づく積極的な生徒指導・特別支援教育の推進
 ※「絆づくり」「居場所づくり」のための取組の推進
 ※「アンケートQ-U」を活用したより良い学級集団づくり
- ③ 教職員研修の充実
 ※絶えず自己研鑽に励むと共に、人権感覚を磨く（研修参加等）

【いじめの心理・原因】

- ・不安、葛藤
- ・劣等感、欲求不満
- ・心理的ストレス
- ・集団内の異質なものの嫌悪感情
- ・ねたみや嫉妬感情
- ・遊び感覚、ふざけ意識
- ・被害者になることへの回避感情等

特色ある教育活動

- 人権旬間
- 人権標語づくり
- 人権旬間の授業公開
- ブロック集会
- 終礼時のスピーチ
- メディア学習・講演会
- ブロック活動の充実（期末テスト対策他）
- 縦割り班活動
- 地域行事への参加（体育祭、文化祭、ぼたん祭り、公民館行事等）

観察・面接・調査の実施

- 教育相談（各学期）
- アンケートQU
- 学園生会アンケート
- 生活振り返りアンケートおよびメディアトラブルについてのアンケート活用
- 保護者面談・個人懇談・学級懇談

【早期発見の取組】
 ささいな兆候を見逃さず、早期に的確に関わりをもち、隠したり軽視したりせず積極的に認知する（「アンテナ」を高く、鋭く保つ）

- ① 学園生の見守りや信頼関係の構築
 ※授業、健康観察、日記指導、部活動、給食時、休憩時、掃除等
- ② 保護者・地域との信頼関係の構築と緊密な連携
 ※家庭訪問、電話連絡、地域行事への参加、通信等の活用
- ③ 学園の全教職員による情報共有の推進と協働体制の構築

校内体制
 (コーディネーター=教頭)

生徒指導体制

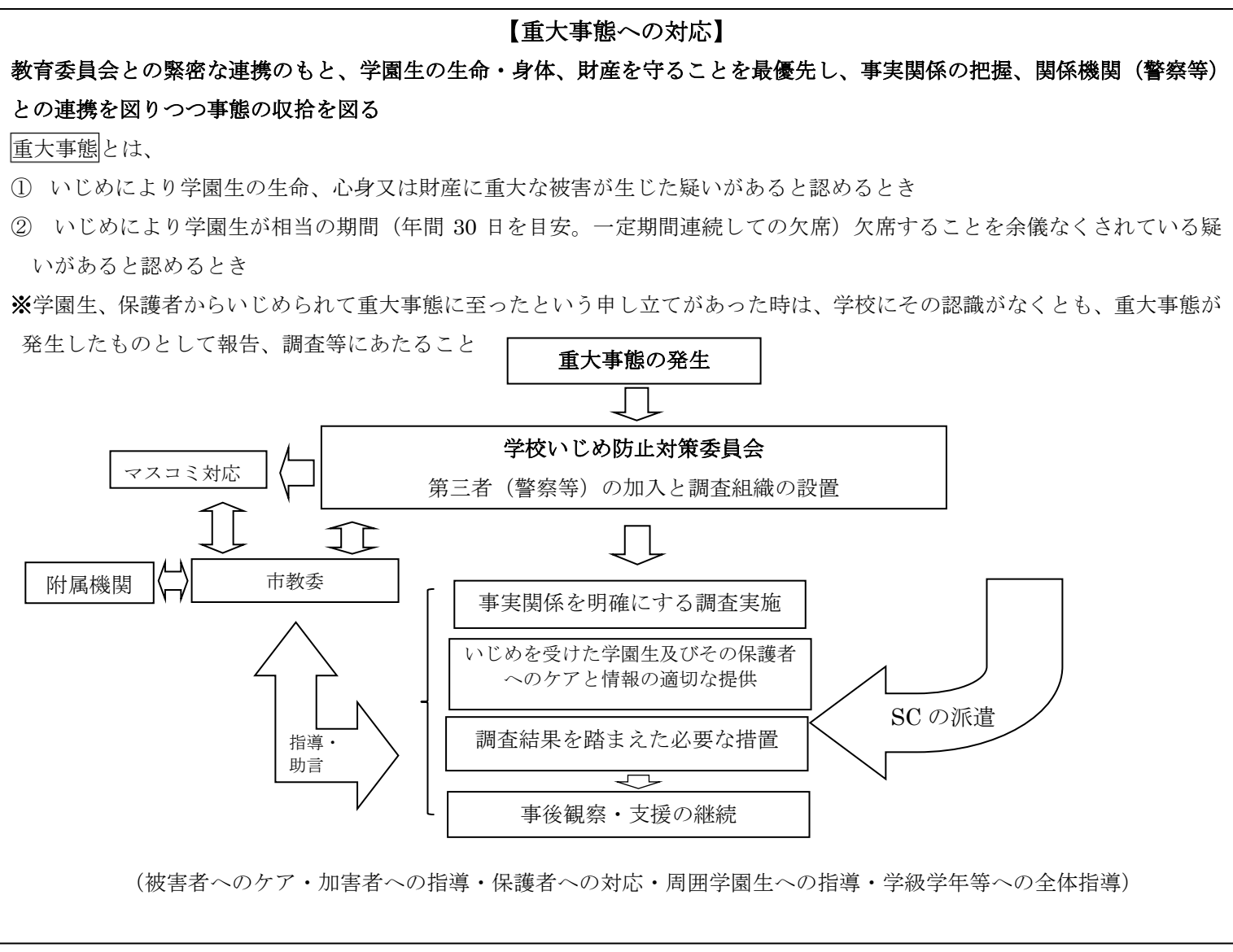
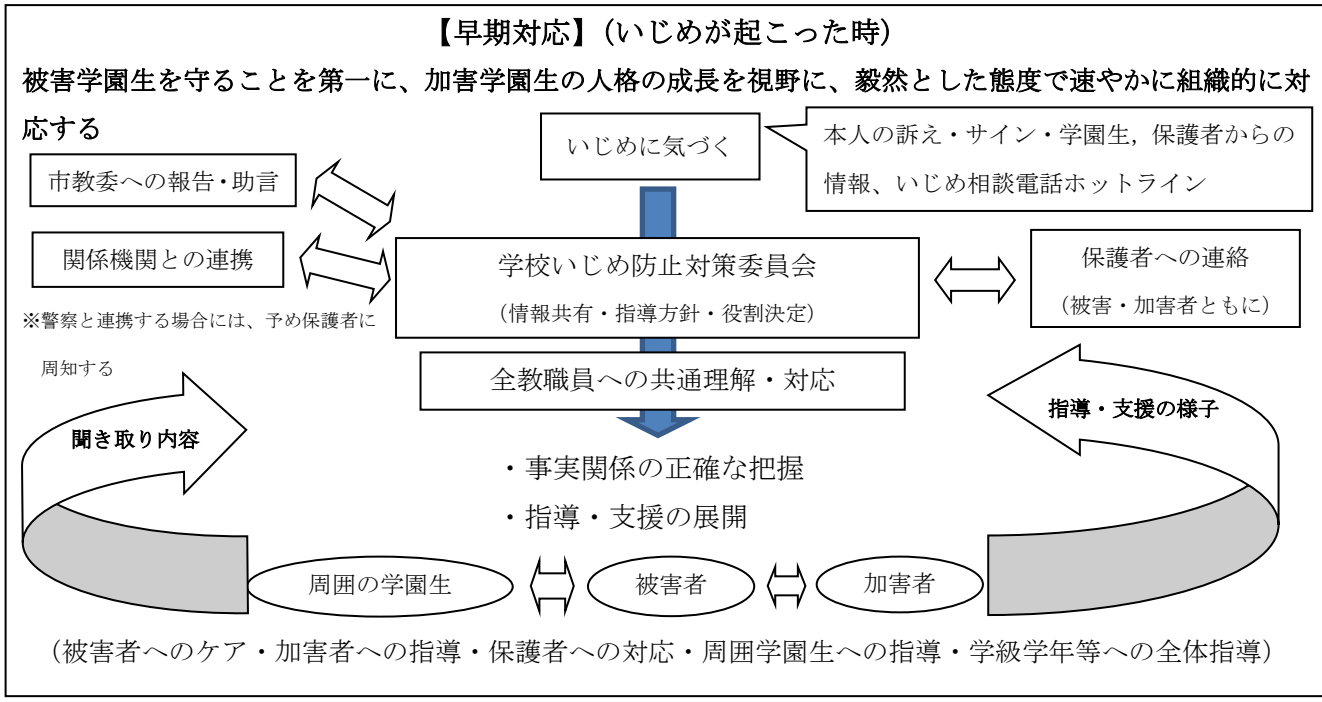
- ・生徒指導の窓（定期）
- ・学校いじめ防止対策委員会
- 校長、教頭、生徒指導主事・主任、担任、ブロック長、養護教諭、人権同和教育主任、教育相談担当、特別支援教育C.N、SC、学校運営協議会会長、PTA会長
- ・校内ケース会議（随時）
- ・校内サポート会議（随時）
- ・要保護児童対策地域協議会（随時）

教育相談体制

- ・教育相談週間
- ・アンケート分析
- ・校内ケース会議

特別支援教育体制

- ・通級指導教室
- ・諸検査の活用
- ・エスコ等との連携
- ・校内ケース会議



【ネットいじめ・トラブルへの対応】
 一度インターネット上にあげた画像、動画等の情報が拡散すると消去することは極めて困難なため、速やかに以下の対応を行う

学校いじめ防止対策委員会開催

- 書きこみ等の確認
- 書きこみ等の削除 → 削除確認
- ・管理人への依頼
- ・警察への相談
- ・法務局への相談
- 市教委への相談・報告
- 該当生徒・保護者への支援・指導

PDCAサイクルによる見直し（授業づくり・集団づくり・人間関係づくり）

「いじめ問題への学校の取組振り返りシート」を活用した取組の点検と充実

「学校評価」による取組の点検と充実